

概要

- ISUT (Information Support Team : 災害時情報集約支援チーム) は、大規模災害時に被災情報や避難所などの情報を集約・地図化し提供して、地方公共団体等の災害対応を支援する現地派遣チーム
- 平成30年度から試行的に活動^(※)し、令和元年度から本格運用
(※) 大阪北部を震源とする地震 (H30.6.18~6.21 : 大阪府庁)、平成30年7月豪雨 (H30.7.7~8.6 : 広島県庁)、平成30年北海道胆振東部地震 (H30.9.6~9.28 : 北海道庁)

派遣基準等

- 内閣府情報先遣チームが派遣された時に派遣
- 原則、被災都道府県の災害対策本部で活動

構成メンバー

- ・ 内閣府防災担当
- ・ 国立研究開発法人防災科学技術研究所
等

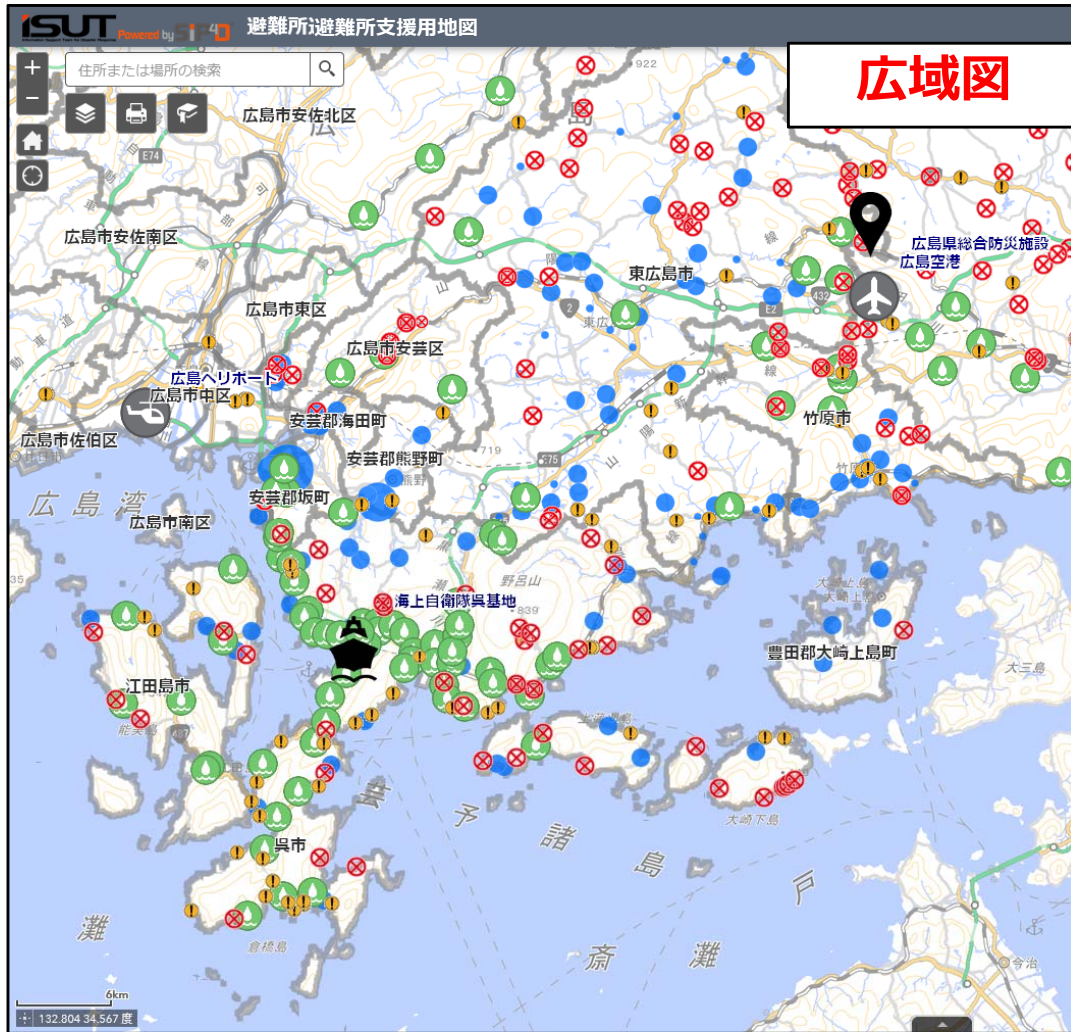
※1チーム4名程度

活動内容

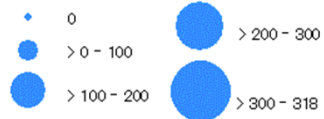
- 現地で関係機関から、気象や地震等の状況、インフラ・ライフラインの被災状況、避難所・物資拠点の開設状況等の情報を収集
- 災害対応者のニーズに応じて必要な情報を重ね合わせた地図を作成し、災害ごとに開設する Webサイト等で提供

ISUTが提供する地図の例 「平成30年7月豪雨における避難所支援用地図」

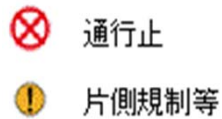
- 開設避難所情報に、道路規制情報、給水拠点情報を統合
- 主に広島県危機管理課による物資支援や、応援自治体による避難所巡回のルート選定に活用



避難者数



道路規制箇所



給水拠点



※インターネット環境があれば、どこでも閲覧可能
 ※自由に拡大・縮小が可能